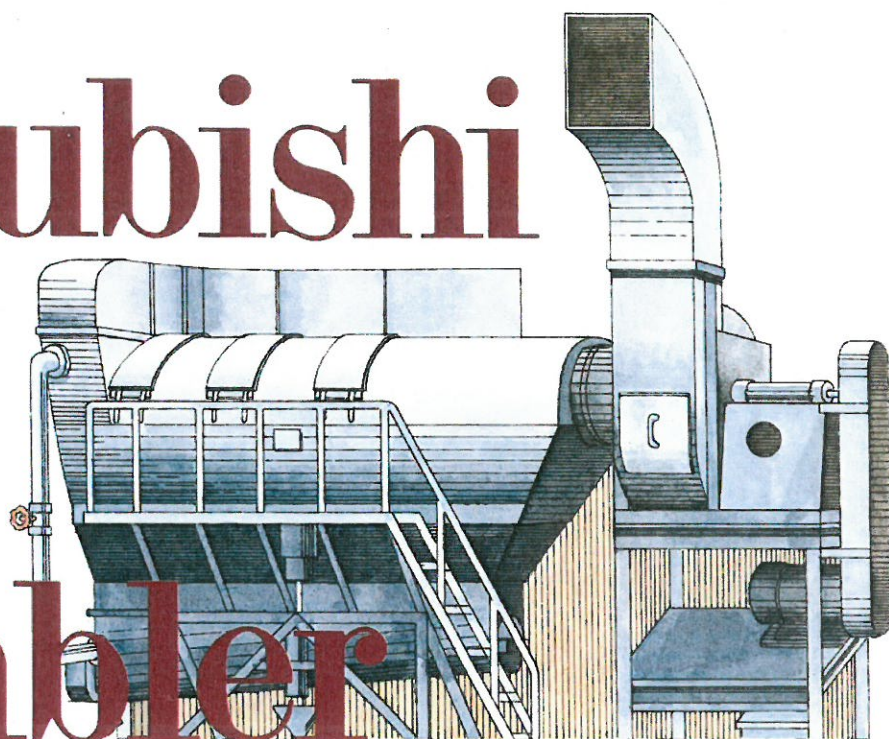


Mitsubishi

Air

Tumbler



三菱エアタンブラ集塵機

Mitsubishi Air Tumbler

三菱エアタンブラ集塵機

エアタンブラは1945年アメリカのG.C.Ziliotto氏により発明され、アメリカでは同氏の主宰するDust Suppression & Engineering Co., Lake Orion Mich. の手で製作・販売されております。エアタンブラは、構造が簡単で取り扱いも容易、非常に性能がよく、しかも極めて低廉です。アメリカだけでなく、英、独、仏、伊 その他11ヵ国に技術輸出されており、日本では弊社のみが製作・販売いたしております。

エアタンブラの構造

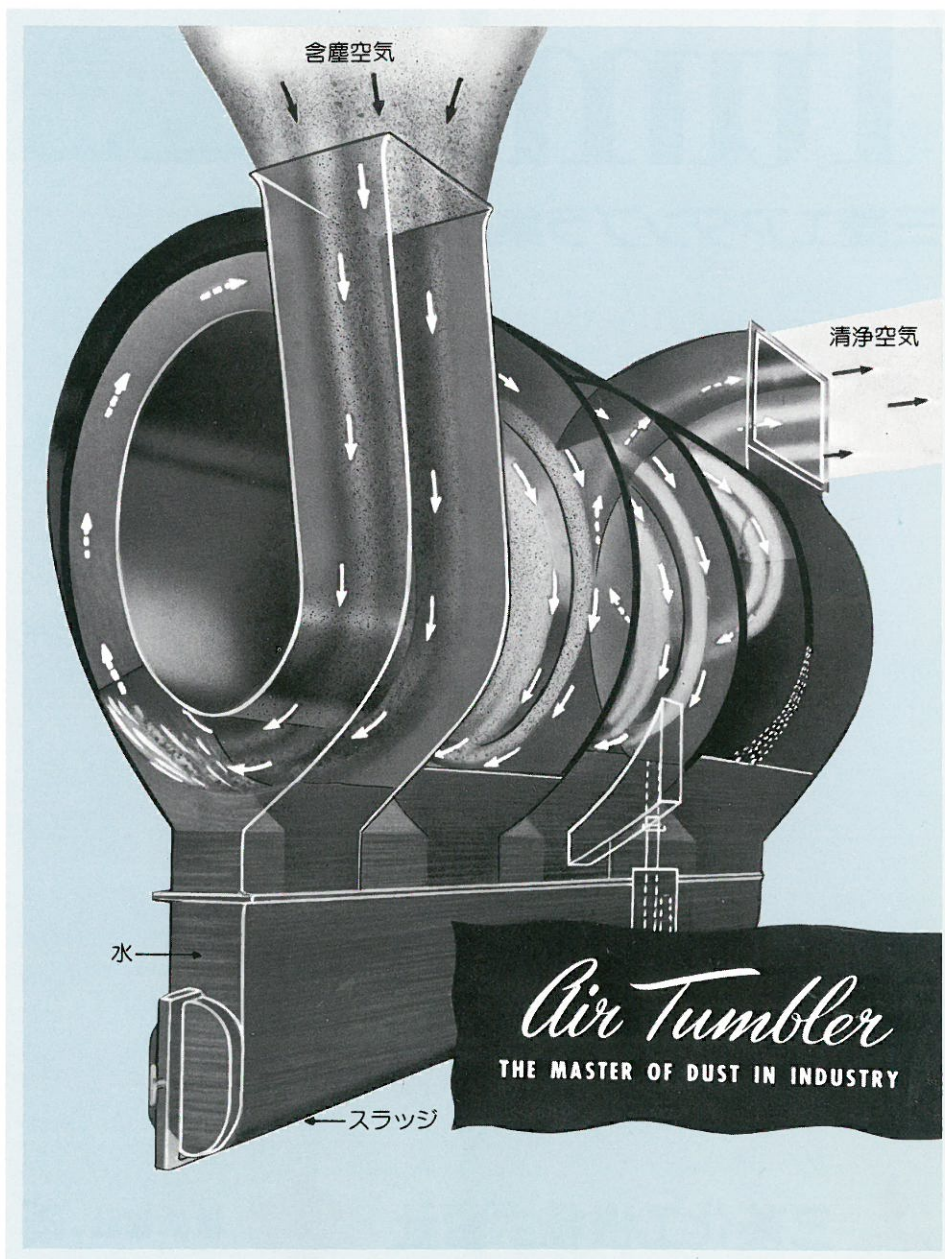
右の図のように、断面が卵形をした筒の内部に特殊なガイドベーンが設けてあります。

ダストを含むガスは、その一端に切線方向に導入され、水平軸のまわりを数回、らせん状に回転する間に、ダストは遠心力によって周壁に分離されます。

胴体の底には水が溜めてありますが、水はガスの流動にともなって周壁に水膜を形成し、分離したダストはこの水膜に捕集されます。

エアタンブラは、胴体の形状、ガイドベーン、水面の調節などに独特のくふうがしてあり、本体の圧力損失はサイクロンやベンチュリスクラバなどに比べて小さく、しかも、集塵効率がよいことが特長です。

ガスの流速は水面を通るときに最も速く、また曲率も大きく、遠心力による分離効果を最高に発揮し、ガス出口室では流速を 5 m/sec. 以下に落しますから、水の飛沫同伴はほとんどありません。



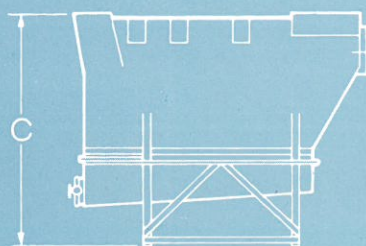
エアタンブラの特長

- 1 集塵効率が非常に高い。
- 2 構造および操作が簡単。
- 3 維持・保守に費用がかからない。
- 4 運転経費が安い。
- 5 水の消費量が少ない。
- 6 動く部分がないので故障がない。
- 7 排出ガス中には水の飛沫同伴がほとんどない。
- 8 据付面積が少ない。
- 9 内面に形成される水膜により摩耗が少ない。

型式および寸法

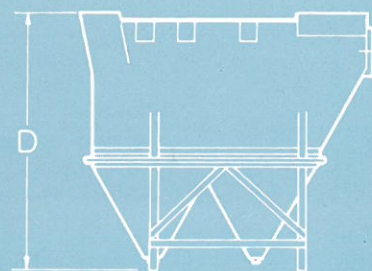
エアタンブラの標準型

WM型

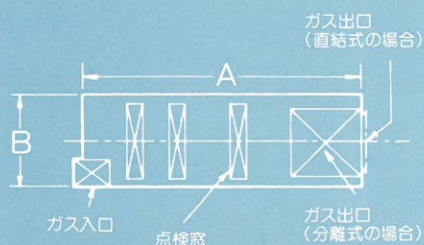


最も簡易な構造、スラッジは人力にて排出する形式。

WH型

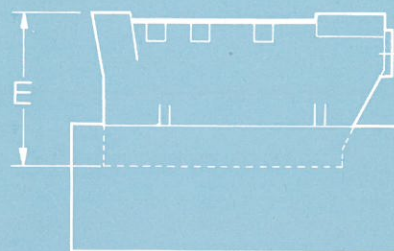


スラッジをスラリー状にて水と一緒に流し出す形式。



ガス出口 (分離式の場合)

W型



スラッジを直接水槽に抜き取る形式で、特に含塵量の多いものに適します。(WM型の変形ともいえます。)

型番 (型)	基準ガス量 (m³/min.)	概 略 寸 法 (m)				
		A	B	C	D	E
35	1020～1130	7.0	2.4	5.2	5.8	3.25
30	850～1020	6.8	2.4	5.15	5.7	3.24
25	715～850	6.5	1.9	4.8	5.4	2.89
20	540～715	5.4	1.8	4.5	5.0	2.75
16	425～540	4.8	1.6	4.05	4.5	2.45
13	340～425	4.45	1.2	3.8	4.2	2.29
10	260～340	4.35	1.2	3.5	3.8	2.04
8	200～260	3.7	1.2	3.25	3.6	1.88
6	150～200	3.25	1.1	3.0	3.1	1.69
4	100～150	2.7	0.9	2.6	2.6	1.38
3	74～100	2.2	0.7	2.25	2.25	1.20
2	51～74	1.75	0.6	1.9	1.8	0.99
1½	35～51	1.75	0.6	1.9	1.6	0.99
1	23～35	1.3	0.45	1.6		0.77



WH35型 製鉄所焼結粉塵



WM3型 車輛部品清掃のオイルミスト、粉塵など



WM4型 台車、モータなどの気吹清掃の粉塵



WH13型 ガラス原料粉塵



WM6型 鑄造工場のショットブラスト粉塵

エアタンブラの排水は、ご要望により三菱化工機株式会社の指導のもとに優れた水処理技術で処理いたします。また、処理水は捕集液として循環使用することができます。